

# 土砂災害の危険性の把握

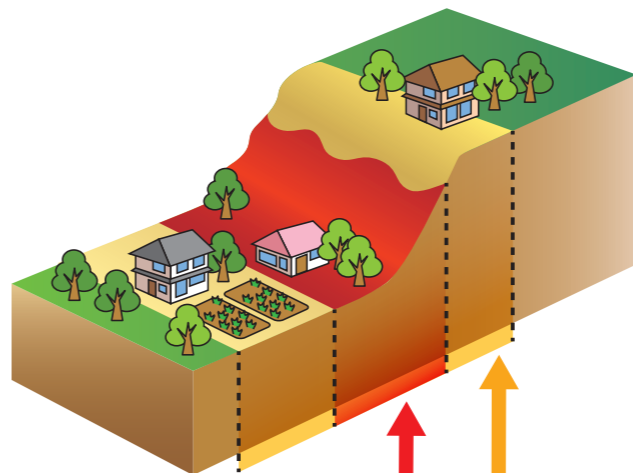
## 土砂災害警戒区域等を知る

県では、土砂災害のおそれのある箇所として、土砂災害警戒区域（イエローゾーン）、土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）の指定を行っています。

昨年度で基礎調査（2万1,879カ所）をすべて終え、今年度中に区域指定の完了をめざしています。基礎調査結果は、県WEBサイトやお住まいの市町村などで確認できます。地域の土砂災害のおそれのある箇所を確認し、早期避難に役立ててください。

ご不明な点は県庁砂防課や振興局建設部へお問い合わせください。

区域の指定状況：1万9,156カ所  
（うち特別警戒区域1万7,401カ所）  
※令和2年4月21日現在



### 土砂災害特別警戒区域

土砂災害が発生した場合に建物が損壊し、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがあると認められる区域  
※特定開発行為に対する許可制、建築物の構造規制、建築物の移転等の勧告などが行われる

### 土砂災害警戒区域

土砂災害が発生した場合に住民の生命または身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域  
※警戒避難体制の整備、ハザードマップ作成による周知の徹底が行われる

# 情報を活かそう

じょうほう

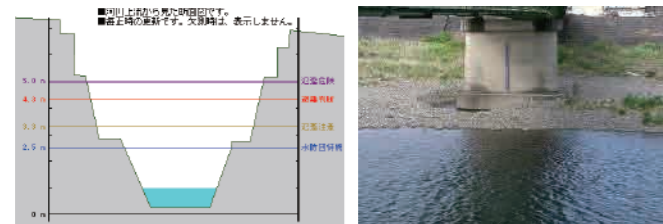
お住まいの地域で大雨が予想される時は、正しい情報を入手し、冷静に対処することが大切です。河川水位や雨量の情報、市町村からの防災情報を自ら確認し、早めの避難行動をとってください。

## 河川・土砂災害のリアルタイム情報

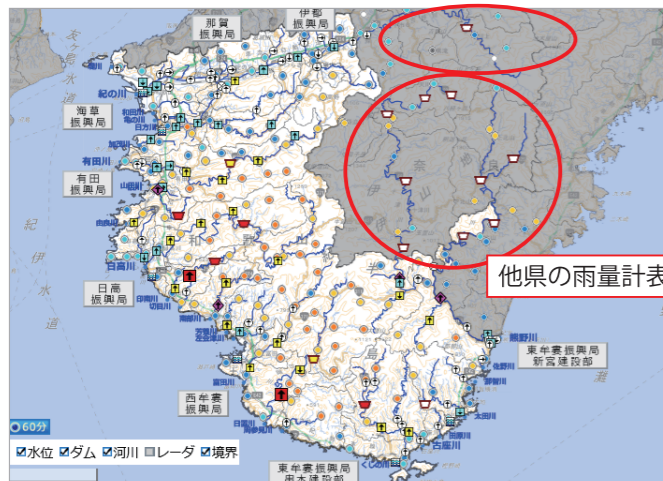
### 河川や土砂災害等の危険性を知る

住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるように、住民目線のソフト対策を重点的に取り組んでいます。テレビ、パソコン、スマートフォン、携帯電話で、河川・雨量・土砂災害警戒情報・気象情報など、リアルタイムな情報を見ることができます。

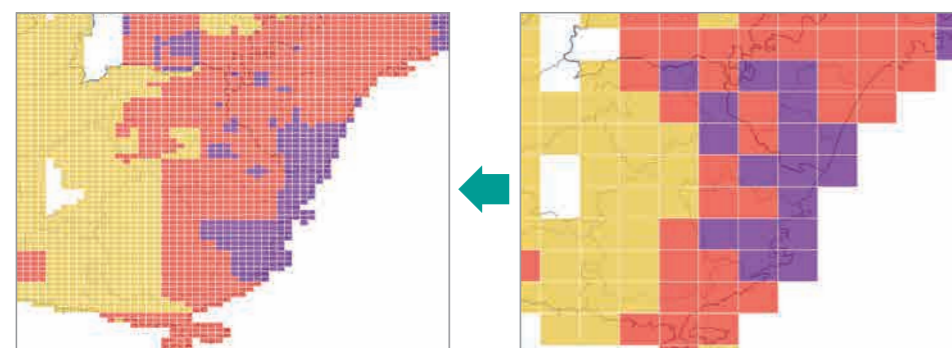
### 提供情報の充実



▲ 河川監視カメラと水位計の増設



▲ 河川上流域の雨量計を見ることで、今後の下流域の水位変化を予想できることから、奈良県や三重県管理の雨量計を表示



◀ 土砂災害警戒情報の危険度分布表示を約5km四方から約1km四方に高解像度化

凡例	
■	すでに土砂災害警戒情報の基準に到達
■	2時間先までに土砂災害警戒情報の基準に到達すると予想
■	2時間先までに大雨警報基準に到達すると予想
■	2時間先までに大雨注意報基準に到達すると予想

### お住まいの地域の情報を把握しましょう



- 雨量・土砂災害警戒情報
- 河川の水位情報やカメラ映像
- ダムの放流量などの情報

和歌山県河川雨量防災情報

河川の水位、雨量や土砂災害などに関する情報を、テレビ和歌山やNHK総合のデータ放送で提供しています。データ放送はリモコンのd(データ)ボタンを押すと視聴できます。

### テレビ(データ放送)による情報



## 土砂災害の前触れを知る

6月は土砂災害防止月間です

土砂災害が発生するときには、危険を知らせる前触れが起こることがあります。次のような現象が見られた場合は、直ちに安全な場所へ避難してください。

### 土石流

- 山鳴りや立木の裂ける音石のぶつかりあう音が聞こえる
- 川が濁って、流木が混じっている
- 雨が降り続けているのに、川の水が減っている

### 地すべり

- 地面にひび割れができる
- 地面が陥没したり、隆起したりする
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が吹き出す
- 池や沼の水の量が急に化する

### がけ崩れ

- がけからの水が濁る
- がけに亀裂が入る
- 小石がぼろぼろ落ちてくる

### 土砂災害から身を守るポイント

- ① 地域の浸水が予想される区域や土砂災害危険箇所を普段から確認する
- ② 雨量の情報や土砂災害警戒情報に注意する
- ③ 大雨時や土砂災害警戒情報などが発表されたときは、早めに近くの安全な場所に避難する
- ④ 夜間に大雨が予想されるときは、暗くなる前に避難する

